

分詞構文の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: -ing で始まる文を見たら、主節の主語を探して意味が取れる

学び直しから始めるクラス 偏差値のめやす ~40程度 この版は基本形と否定形の2つだけを見ます

気づき AとB、意味はほぼ同じ。でもBは1文になっている。何が消えた？

A	When I opened the door, I found a cat sleeping on the sofa.	ドアを開けると、ネコがソファで寝ていた。
B	Opening the door, I found a cat sleeping on the sofa.	ドアを開けると、ネコがソファで寝ていた。
A	Because I did not know what to say, I just smiled.	何と言えればいいか分からず、ただ笑った。
B	Not knowing what to say, I just smiled.	何と言えればいいか分からず、ただ笑った。

消えたのは接続詞 (when / because) と、くり返しの主語 (I)。残った動詞を -ing にすると、前半が「状況を添える部分」に変わります。接続詞が消えるぶん、時なのか理由なのかは読み手が文脈で補う—だからこの形は、関係がはっきりしている場面だけで使えます。否定は not を -ing の前に置きます。

整理 分詞構文の基本の2つ

形	作り方	表すこと	例文
基本形	V-ing ..., S + V.	時・理由・条件など	Sitting by the window, she watched the rain. 窓辺にすわって彼女は雨を見ていた。
否定形	Not + V-ing ..., S + V.	~しないので／~せずに	Not having a car, we walked to the station. 車がないので私たちは駅まで歩いた。

分詞構文はまず読めれば十分です。-ing で文が始まったら、コンマのあとの主語を探して「その人がしていること」とつなげば意味が取れます。話すときは接続詞 (when / because) で言ってもかまいません。

確認 () 内から正しいほうを選ぼう。 知識・技能

- (1) (Walking / Walked) along the beach, I found a beautiful shell.
- (2) (Knowing not / Not knowing) his address, I could not send the letter.

確認の解答

(1)	Walking	歩いたのは I = 「する」側なので -ing。
(2)	Not knowing	否定の not は -ing の前に置く。do not / does not は入れられない。

つまずき① 主語がずれる (いちばん多い誤り)

分詞の意味上の主語は、**主節の主語と同じ**が原則です。日本語は主語を省くので、そのまま英語にすると主語がずれます。下の×は、読み手には「走っていたのは電車」に見えてしまう一文法の誤りである前に、**意味が変わってしまうのがこわい**ところ。書いたら必ず「-ing しているのは誰か」を確かめる習慣をつけさせます。

× Running to the station, the train was leaving the platform. → ○ Running to the station, I saw the train leaving the platform.

主節の主語を I にそろえるか、接続詞に戻す (While I was running to the station, the train was leaving the platform.)。迷ったら接続詞に戻すのが安全です。

つまずき② 否定は not を前に置く

否定形は not を分詞の直前に置きます。do not / does not は使えません—分詞は人称や時制の変化をせず、do の入る場所がないからです。完了形の否定も not having+過去分詞 の順になります。

× Knowing not what to do, I asked my teacher. → ○ Not knowing what to do, I asked my teacher.

「分からなかったので」を Because I did not know ... と書いてから、接続詞と主語を消して not だけ残す—この手順で教えると定着します。

授業のひとこと この帯は「書ける」より「読める」を目標にしてよい単元です。英コミの本文で -ing や過去分詞で始まる文に出会ったとき、主節の主語を探す1手順ができれば十分な成果。完了形・独立分詞構文はこの帯では扱わない判断があってよいでしょう。